

電気通信番号の犯罪利用対策に向けた 制度見直しの検討に関する 当協会の意見

2024年8月6日

一般社団法人 日本ユニファイド通信事業者協会
(JUSA)

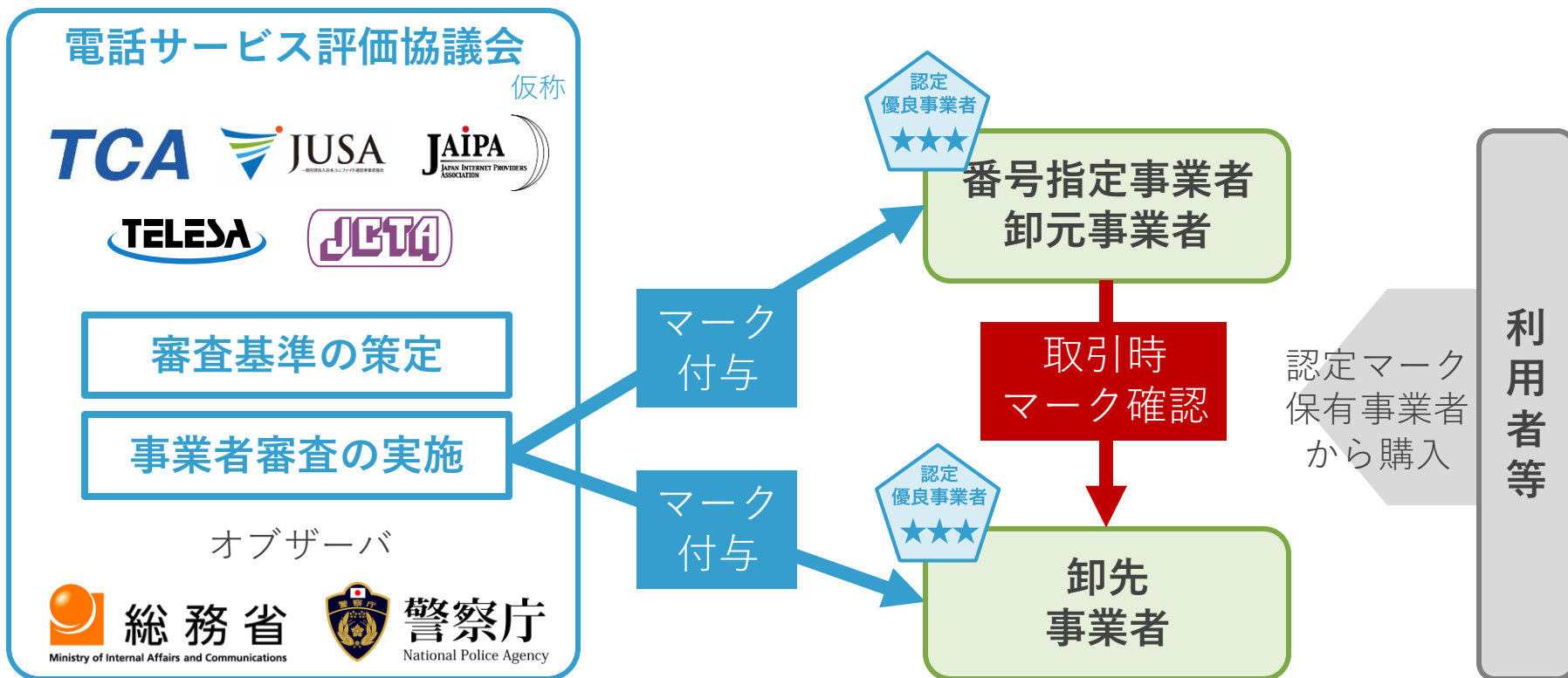
「事業者における取組」に関する当協会の意見

	取組案（事務局資料）	当協会意見
1	電気通信番号使用計画の認定の確認	事務局案に賛成します。 1. 番号使用計画認定の確認については確実な実施に向けて広報・啓発等の推進が必要です。 2. 多くの既存の卸契約も確認が必要です。外国事業者に流れた番号のサプライチェーンは特に確認が必要である認識。
2	番号の提供数の制限	事務局案に賛成します。 1. ただし客観的に判断できる基準づくりが必要です。
3	本人確認	事務局案に賛成します。
4	当人確認	事務局案に賛成します。
5	与信審査	事務局案に賛成します。 1. 一般的な商取引として与信管理は各社が行っているものの、各社の事業環境を勘案し審査しており、番号の卸提供において統一的で合理的な与信基準を確保することは困難です。 2. 後述する事業者評価制度によって事業者の信頼性の一定の基準化・確保は可能と考えています。
6	2次卸の禁止	事務局案に賛成します。 1. 健全に事業を行う3次、4次の卸事業者も多く存在。卸回数制限を行う場合には番号の直接割り当てを推進するなど他国の事例も参考にしながら多面的な議論が必要です。

電話事業者の評価機関設立にむけた動き

1. 総務省「電話転送事業者の品質に係る客観的判断（中略）調査検討会」報告を
基にした事業者の評価制度を構築中。
2. JUSA・TCA・JAIPA・テレサ・JCTAの通信系の5団体で評価運営機関を早期
（今年秋）設立予定。

JUSA: 一般社団法人日本ユニファイド通信事業者協会
TCA: 一般社団法人電気通信事業者協会
JAIPA: 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会
テレサ: 一般社団法人テレコムサービス協会
JCTA: 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟



事業者評価制度～より実態に沿った柔軟な評価の実現

1. 現在の番号制度は最低限の規制。不適正事業者は必ず抜け穴をついてくる。
2. 並行して事業者団体として評価制度等を用意し、自主的な取組みを実施予定。民間の特性を活かし実態に即した事業者の適正性を確認評価する。制度と評価制度が車の両輪として効果的に機能。
3. 番号管理事業者から末端の卸先事業者まで、電話番号のサプライチェーン全体を、本取組（車の両輪）でカバーすることが重要。

2F 実態に即した「適正な電話事業者」の確認

設備品質・情報セキュリティ・サービス品質・
個人情報保護・防犯等の維持・コンプライアンス
不適正事業者と取引を行わない・不正時に停止する取組み

1F 番号制度に基づく規制等

番号使用計画認定の取得・取引時の確認
電気通信事業者の届出等

事業者評価制度

規制適合・事業適正性
など事業者の取組状況
を柔軟に評価する

**不正発覚時は
迅速に評価取り消し**

1. 事業者評価ではバックグラウンドチェックなど、国の制度では難しいよりリアリティのある評価を実施。
2. 事業者が不正対応を開始した場合、迅速に評価を取り消し不正拡大防止を図る。
3. 不適正事業者への資金流入の阻止。

おわり